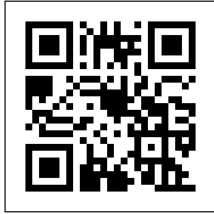


令和6年度

危険物取扱者試験案内



消防試験研究センター 検索



一般財団法人
消防試験研究センター岐阜県支部

〒500 - 8384

岐阜市藪田南1 - 5 - 1 第2松波ビル1階

TEL (058) 274 - 3210

FAX (058) 275 - 4546

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により、岐阜県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

お知らせ

- 試験手数料の改定**に関する重要なお知らせ
令和6年5月1日から試験の手数料（受験料）が改定されます。
願書の受付開始日が令和6年5月1日以後の試験は、改定後の手数料となりますので、この試験案内の6ページをご確認のうえ、誤りのないよう払い込みをお願いします。
- 試験日程**は、**2ページ**をご覧ください。
試験日程・会場は変更する場合がありますので、申請前にホームページをご確認ください。
- 受験願書（書面申請）**は、受験地の都道府県の支部に提出してください。
- 電子申請（インターネットからの受験申請）**をご利用いただけます。
くわしくは、（一財）消防試験研究センターのホームページをご覧ください。
- 受験票（写真貼付）**を試験当日、必ず持参してください。
くわしくは、7ページをご覧ください。

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。

1 試験の種類

- 甲種危険物取扱者試験
- 乙種危険物取扱者試験（第1・2・3・4・5・6類）
- 丙種危険物取扱者試験

※ 各資格を取得することによって取扱のできる危険物の種類は、12ページに記載してあります。

2 試験の日程、試験会場等（変更する場合がありますので、申請前にホームページで確認してください。）

| 区分 | 試験日 | 受験地 | 試験会場 | 願書受付期間 [電子申請も同じ期間] | 合格発表 予定日 |
|-----|-----------------|-------|---------------------------|-----------------------|-------------|
| 第1回 | 令和6年 6月9日(日) | 多治見高 | 多治見高校 (多治見工業高校ではありません) | 4月15日(月)～4月23日(火) | 7月1日(月) |
| | 6月16日(日) | ソフトピア | ソフトピアジャパンセンター | | 7月8日(月) |
| 第2回 | 6月23日(日) | 岐阜大 | 岐阜大学 | 5月2日(木)～5月13日(月) | 7月16日(火) |
| | 6月30日(日) | 飛騨高山 | 飛騨高山高校山田キャンパス | | 7月22日(月) |
| 第3回 | 10月20日(日) | ソフトピア | ソフトピアジャパンセンター | 8月30日(金)～9月9日(月) | 11月11日(月) |
| | 10月27日(日) | 飛騨高山 | 飛騨高山高校山田キャンパス | | 11月18日(月) |
| 第4回 | 11月10日(日) | 多治見高 | 多治見高校 (多治見工業高校ではありません) | 9月20日(金)～9月30日(月) | 12月2日(月) |
| | 11月17日(日) | ソフトピア | ソフトピアジャパンセンター | | 12月9日(月) |
| 第5回 | 12月1日(日) | 岐阜大 | 岐阜大学 | 10月11日(金)～10月21日(月) | 12月23日(月) |
| 第6回 | 令和7年 2月2日(日) | ソフトピア | ソフトピアジャパンセンター | 12月9日(月)～12月17日(火) | 2月26日(水) |
| | 2月9日(日) | 岐南工 | 岐南工業高校 | | 3月5日(水) |
| | 2月16日(日) | 多治見高 | 多治見高校 (多治見工業高校ではありません) | | 3月10日(月) |
| | 2月23日(日) | 飛騨高山 | 飛騨高山高校山田キャンパス | | 3月17日(月) |

(1) 試験種類 各会場とも全種類を実施します。

(2) 試験時間

甲種 10時00分～12時30分

乙種第4類 10時00分～12時00分 乙種第1～6類 14時00分～16時00分

丙種 14時00分～15時15分

※乙種第4類の試験は、受験者数により、午前と午後に分割して実施しますが、午前・午後の試験時間帯は当支部が指定(受験票に記載)し、受験者本人が選択することはできません。

(3) 午前の試験は**9時30分**、午後の試験は**13時30分**までに受験票を持参して集合してください。試験における注意事項を説明しますので、必ず集合時間までに着席してください。

(4) 試験会場や試験時間を変更することがあります。この場合は、受験票で通知しますので、必ず受験票を確認してください。

3 受験願書の受付

| | |
|----------------|---|
| 書面申請受付場所(郵送先) | (一財)消防試験研究センター岐阜県支部 〒500-8384 岐阜市藪田南1-5-1 第2松波ビル1階 |
| 願書の提出(申請)方法と受付 | <p>持参する場合 受付時間内に当センター岐阜県支部で受け付けます。受付時間は、土・日・祝日を除く平日の午前9時00分から午後5時00分までとします。</p> <p>郵送する場合 A4版の封筒に受験願書を折り曲げないように入れ、封筒の表に「危険物取扱者試験受験願書在中」と記入してください。 不着によるトラブルを避けるため、「簡易書留郵便」による郵送をお勧めします。 普通郵便等での不着の場合、当センターは一切関与いたしませんのでご了承願います。 受付最終日の消印による郵送分までを受付有効とします。</p> <p>電子申請する場合 当センターのホームページ (https://www.shoubo-shiken.or.jp) に利用方法やQ&Aが掲載されていますので、必ずこれをご確認のうえお申し込みください。 電子申請の受付期間は、受付開始日の午前9時00分から受付最終日の午後11時59分までで、受付期間中は24時間対応となります。 電子申請に関する問い合わせは、下記までお願いします。 (一財)消防試験研究センター 電子申請室 電子申請問合せ窓口 TEL: 0570-07-1000 (有料) 受付時間 平日午前9時00分から午後5時00分</p> |

※書面申請は受付期間終了後、電子申請は申請の受付完了後、申請した内容の変更及び取消しはできません。

4 受験資格

(1) 甲種危険物取扱者試験の受験資格者は、下表の該当者に限られています。

| 資格者 | 大学等及び資格 | 願書資格欄記入略称 |
|--|--|-----------|
| [1] 大学等において化学に関する学科等を卒業した方 (別表1参照13ページ) | ・大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 | 大 学 等 卒 |
| | ・大学、短期大学、高等専門学校等の専攻科 | |
| | ・職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校 | |
| | ・防衛大学校 | |
| | ・外国に所在する大学等 | |
| [2] 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 ([1]の対象者を除く) (別表2参照13ページ) | ・大学、短期大学、高等専門学校(専門科目に限る)、大学院、専修学校 | 15 単 位 |
| | ・大学、短期大学、高等専門学校の専攻科 | |
| | ・職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校 | |
| | ・防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校 | |
| | ・外国に所在する大学等 | |
| [3] 乙種危険物取扱者免状を有する方 | ・乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方 | 実 務 2 年 |
| | ・次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 第1類又は第6類 第2類又は第4類 第3類 第5類 | 4 種 類 |
| [4] その他の方 | ・修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方 (外国の同学位も含む) | 学 位 |

〔備考〕

- ① [2]の大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位は、卒業・在学中・中途退学・通信教育及び放送大学等にかかわらず通算することができます。また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。
(大学等において発行する単位修得証明書による。)
- ② 高等専門学校における修得単位は、専門科目のみ対象とします。
- ③ 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所の卒業生及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。

(2) 乙種危険物取扱者試験・丙種危険物取扱者試験には受験資格は設けられていません。

5 受験申請に必要な書類等

受験する種類ごとに、次の書類が必要です。

(1) 受験願書

(2) 受験資格及び試験科目の免除を証明する書類等

ア 甲種危険物取扱者試験を受験する方は、受験資格を証明する次のいずれかの書類が必要です。

| 資 格 者 | | 証 明 書 類 |
|---|------|--|
| [1] 大学等において化学に関する学科等を卒業した方 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校長等の卒業証明書（原本）又は卒業証書（コピー） （化学に関する学科が明記されたもの） ・ 専修学校については上記の他に専門士又は高度専門士の称号付与を証する書面又は専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証する書面（原本） 書式例1参照（15ページ） |
| [2] 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方（[1]の対象者を除く） | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 単位修得証明書（原本）又は成績証明書（原本） （化学に関する修得単位数が明記されたもの） 書式例2参照（15ページ） ・ 専修学校については[1]に示す書面 |
| [3] 乙種危険物取扱者免状を有する方 | 実務2年 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 乙種危険物取扱者免状 及び 乙種危険物取扱者免状を取得してから2年以上の実務経験を有することを証する事業主の証明書 （受験願書B面裏の実務経験証明書欄に記入してください。） |
| | 4種類 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 乙種危険物取扱者免状（指定の4種類以上） |
| [4] その他の方 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学位記等（学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの） |

※卒業証書、免状等は、コピー（縮小したものも可）を願書B面（裏）に貼付してください。

※過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことがある方は、その時の受験票の控え又は試験結果通知書（いずれも資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、受験資格の証明書に代えることができます。（コピー可）

※〔3〕の乙種危険物取扱実務経験証明書は、事業主等の証明書です。実務経験期間の算定で、取り扱った期間が断続している場合は、危険物を実際に取り扱った期間を通算してください。

イ 乙種危険物取扱者試験において、試験科目の免除を受ける受験者は、「乙種危険物取扱者免状」、「火薬類免状」のコピーが必要です。

ウ 丙種危険物取扱者試験において、試験科目の免除を受ける受験者は、「5年以上消防団員として勤務したことを証明する書類」（消防団長が証明するもの）及び「消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類」（消防学校長が証明するもの）が必要です。

エ 既に危険物取扱者の免状を有する方は、その免状のコピーが必要です。

(3) 払込用紙右端の試験手数料の「振替払込受付証明書（お客さま用）」

6 試験手数料及び払込方法

(1) 試験の手数料（消費税非課税）については、下記のとおりです。

※令和6年5月1日に手数料が改定されます。

※願書の受付開始日が令和6年5月1日以後の試験は、改定後の手数料となりますので、下記を確認の上、正しい金額の払い込みをお願いします。

第1回 令和6年6月9日の試験（会場：多治見高校）
令和6年6月16日の試験（会場：ソフトピアジャパンセンター）

| 甲種 | 乙種 | 丙種 |
|--------|--------|--------|
| 6,600円 | 4,600円 | 3,700円 |

第2回 令和6年6月23日以降の試験＜改定後の手数料＞

6月23日の試験（願書受付期間5月2日～5月13日）からは改定後の手数料になります。

| 甲種 | 乙種 | 丙種 |
|--------|--------|--------|
| 7,200円 | 5,300円 | 4,200円 |

※受付期間前の受験申請はできません。

※手数料改定後に、改定前の手数料を払い込んだ場合は、不足分の振り込みが必要となりますのでご注意ください。

なお、一旦払い込みされた試験手数料は、お返しできません。

（受験票に写真が未貼付等の理由で受験できなかった場合も同様です。）

(2) 受験願書と一緒にお渡しした所定の払込用紙「郵便局（ゆうちょ銀行）窓口用用紙」を使って郵便局又はゆうちょ銀行の窓口（ATM不可）で払い込んでください。なお、試験手数料とは別途に払込手数料が必要となります。（試験手数料の払い込みは、岐阜県支部窓口ではできません。）

(3) 払込用紙右端の「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書B面の試験手数料欄に貼ってください。（本人控えの「振替払込請求書兼受領証」では受付できません。）

紛失した場合は、再度払い込みの上、新たな「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書に貼ってください。

(4) 事業所、学校等で従業員や生徒の方々が、まとめて受験されるとき及び複数の種類を受験されるときは、試験手数料のまとめ払いができます。

この場合は、提出されるいずれかの受験願書の所定欄に「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼って提出してください。

※電子申請の場合の払込方法は、当センターホームページをご確認ください。

7 受験票の郵送

書面申請された方には、受験票を試験日の10日前頃に郵送します。

電子申請された方には、試験日の1週間前頃に受験票がダウンロードできる旨のメールが送信されますので、受験者が印刷してください。必ずA4サイズの白い用紙（普通紙）に縮小せずに印刷してください。

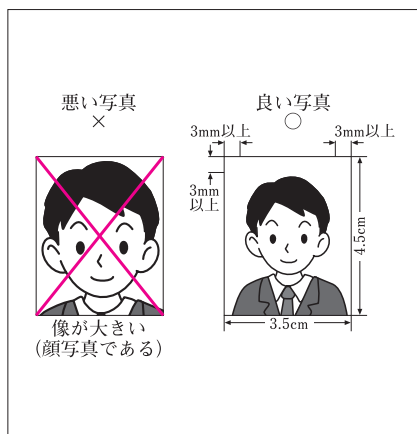
なお、受験票が届かない場合は、試験日3日前までにご連絡願います。

8 受験票への写真の貼付（書面申請、電子申請共通）

下記に示す写真（縦4.5cm×横3.5cm又はパスポート規格）とし、裏面に「撮影年月日、氏名及び年齢」を記入し受験票に貼ってください。

受験時の本人確認及び試験に合格された場合の**免状用写真**として使用しますので、**サイズに適合した写真をしっかりとお貼りください。セロハンテープは使用しないでください。**

（写真を貼ってない受験票を持参されても受験できません。ただし、項番11「複数種類の受験」(2)の複数受験の場合は、いずれかの受験票に写真を貼っていただければ受験できます。



写真

- 1 カラー、白黒のどちらでも可（受験日前6ヶ月以内に撮影したもの）。
- 2 無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く）、無背景、申請者のみが撮影され、正面上三分身像、枠なしの鮮明なもの。
- 3 背景と頭髪の色が同系色でなく影がないもの。
- 4 デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明なものとしてください。
- 5 不適切な写真の例
表面に傷や汚れのあるもの、サングラス、マスク等髪や顔が覆われているもの、眼鏡のレンズに光が反射しているもの、頭髪が目にかかっているもの、写真のコピー等は適合しません。

9 試験科目・問題数及び試験時間

| 種 類 | 試 験 科 目 | 問 題 数 | 合 計 | 試 験 時 間 |
|------------------------------|----------------------------|-------|-----|---------|
| 甲 種 危険物取扱者試験 | 危険物に関する法令（法令） | 15問 | 45問 | 2時間30分 |
| | 物理学及び化学 | 10問 | | |
| | 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消） | 20問 | | |
| 乙 種 危険物取扱者試験 （第1類～第6類） | 法令 | 15問 | 35問 | 2時間00分 |
| | 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化） | 10問 | | |
| | 性消 | 10問 | | |
| 丙 種 危険物取扱者試験 | 法令 | 10問 | 25問 | 1時間15分 |
| | 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消） | 5問 | | |
| | 性消 | 10問 | | |

10 試験科目の免除

(1) 乙種危険物取扱者試験の科目免除

乙種危険物取扱者免状や火薬類免状を有する方が受験される場合は、^(注)申請により下表のとおり試験科目が免除されます。

(注)：受験願書の中段にある科目免除欄の該当する○を实線で囲むとともに、免除を証明する書類を所定欄に貼付してください。

| 免除資格者 | 免除対象類 | 試験科目(略称) | 免除内容 | 問題数 | 合計 | 試験時間 |
|-------------------------------------|-------|----------|------|-----|-----|--------|
| 乙種危険物取扱者免状を有する方 | 全類 | 法令 | 全部免除 | 0問 | 10問 | 35分 |
| | | 物化 | 全部免除 | 0問 | | |
| | | 性消 | | 10問 | | |
| 火薬類免状を有する、科目の一部免除を申請する方 | 第1類 | 法令 | | 15問 | 24問 | 1時間30分 |
| | | 物化 | 一部免除 | 4問 | | |
| | | 性消 | 一部免除 | 5問 | | |
| 乙種危険物取扱者免状を有し、かつ火薬類免状を有して科目免除を申請する方 | 第5類 | 法令 | 全部免除 | 0問 | 5問 | 35分 |
| | | 物化 | 全部免除 | 0問 | | |
| | | 性消 | 一部免除 | 5問 | | |

(2) 丙種危険物取扱者試験の科目免除

丙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、^(注)申請により下表のとおり受けることができます。

(注)：受験願書の中段にある科目免除欄の該当する○を实線で囲むとともに、免除を証明する書類を所定欄に貼付してください。

| 免除資格者 | 試験科目(略称) | 免除内容 | 問題数 | 合計 | 試験時間 |
|--|----------|------|-----|-----|--------|
| 5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方 | 法令 | | 10問 | 20問 | 1時間00分 |
| | 燃消 | 全部免除 | 0問 | | |
| | 性消 | | 10問 | | |

11 複数種類の受験(併願受験と複数受験) ※書面申請のみで、電子申請はできません。

- 併願受験** 試験日又は試験時間帯が異なる場合は、複数の試験を受験することができます。この場合の受験願書は、受ける試験種類ごとに作成し、同一の封筒で申請してください。
- 複数受験** 既に乙種危険物取扱者免状を有する方に限り、乙種試験の類の中から3種類までを同時に受験することができます。この場合、受験願書は試験の種類ごとに作成し、同一の封筒で申請してください。試験時間は2種類受験は1時間10分、3種類受験は1時間45分です。

12 試験の方法

- マークシートを使用し、筆記試験で行います。
- 甲種及び乙種の試験については5肢択一式、丙種の試験については4肢択一式です。

〔記入例 (A面)〕



危険物取扱者試験受験願書

外国籍の方は、住民基本台帳に記載されているアルファベット氏名 (又は漢字)、あるいはパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
受験をする県名を記入してください



| | | | | |
|------------------------|--------------------------------|--------------------|------------------------------|--|
| 一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿 | 都道府県名 | 岐阜 | 申請日 | 令和 06 年 05 月 07 日 |
| 申請者氏名 | シロホウ | 太郎 | フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左から記入してください | |
| 生年月日 | 大昭和 57 年 04 月 05 日生 | 本籍 | 岐阜 | 都道府県 本籍コード 21 |
| 郵便番号 | 500-8384 | 自宅電話番号 又は携帯電話番号 | 058-274-3210 | |
| 住所 | 岐阜県岐阜市蕨田南 1-5-1 第2松波ビル1階 | 勤務先名又は学校名 | 株〇〇産業 | 連絡先電話番号(携帯電話も可) 058-123-4567 内線(321) |

濁音、半濁音は1マスを使用してください

1行目→都道府県名から字名までを記入してください

2行目→丁目・番地・号を数字とハイフオンで記入してください

3行目→アパート・マンション名・部屋番号等を記入してください

試験案内「2試験の日程、試験会場等」の中の受験地を記入してください

試験案内「4受験資格」(1)の中の「願書資格欄記入略称」により記入してください (甲種受験者のみ)

複数の試験を受ける方はこの受験願書以外に受けるすべての種類を記入してください (受験する種類ごとに願書を作成)

元号は昭和………3
平成………4
令和………5
と記入してください

| | | | | |
|------------------------------------|--|--------|---------------------------|---|
| 試験日 | 令和 06 年 06 月 23 日 | ※1 | メールアドレス(任意) | shoubo-taro@xxx.xx.xx |
| 試験種類 | 甲 乙 丙 種 第 3 類 | ※2 受験地 | 他の都道府県での受験申請状況 | 都道府県コード 試験種類 試験日 |
| 受験地 | 岐阜大 | | 23 甲 乙 丙 種 第 6 類 0 月 00 日 | |
| 甲種受験資格 | | ※3 資格 | | |
| 科目免除 | 火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける) (受けない) 乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) (受けていない) 5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者に (該当する) | ※4 免除 | 該当する職業等に1つだけ○を記入してください | ① 高校生 ○ ⑦ 危険物取扱者その他の事業 ② ①以外の学生、教育・研究機関 ⑧ 公務員 ③ ガランスタンド ⑨ 警備業 ④ 化学工業 ⑩ ビル管理業 ⑤ 危険物の卸売業、小売業 ⑪ その他 ⑥ 危険物の運送業 |
| 同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること | 甲 乙 丙 種 第 2・5 類 | ※5 複数 | | |
| | | ※6 併願 | | |

申請日を記入してください

外国籍の方は「外国籍」と記入してください

願書裏面にある「都道府県コード」を記入してください

3か月前以内に他県で受験の申請又は受験した場合は記入してください

主となるものに○を付けてください

免状の写真の下に12桁の数字のある人はその数字を記入してください

| | | | |
|---------------------------|---------------------|-----------|--------------|
| 免状取得の有無について記入してください | 有 無 | 免状番号 | 123456789012 |
| 取得している危険物取扱者免状は全部記入してください | 元号コード (昭和3 平成4 令和5) | 免状交付年月日 | 交付番号 |
| 甲 | | | |
| 乙1 | | | |
| 乙2 | | | |
| 乙3 | | | |
| 乙4 | 4 | 18年08月11日 | 00234 |
| 乙5 | | | |
| 乙6 | | | |
| 丙 | | | |
| ※入力番号 | | 交付知事 | コード |
| | | 岐阜 | 21 |

(記入上の注意)
● ● ● ● ●
● 免状番号は、免状写真裏面に記載されている番号です
● 枠は該当するものに○を記入してください
● 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください
● 本用紙は、折り返したり、折り曲げたりしないでください
● ※印は、記入しないでください

※団体コード [] ※受付機関コード [] ※分類コード 3A12 ※ []
高校生のみ学年・組等を記入してください

(A面) 試験センター発行

注意事項

- 複写式になっていきますので「黒色のボールペン」を使用し、楷書でしっかり書いてください。書き損じた場合は、横2本線を引いて、その上方に正しく書いてください。
- 年月日が1桁の場合も、2桁で記入してください。〔例：57年4月5日→57年04月05日〕
- 申請者氏名は、住民票に記載されたとおり記入してください。
- 住所欄で、コマが不足する場合は、郵便が届く程度に適宜省略してください。
- 書類に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望する方はメールアドレスを記入してください (携帯電話アドレス可)。なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定 (ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp) を行ってください。

◎ 取扱のできる危険物の種類

| 種 別 | 取 扱 の で き る 危 険 物 の 種 類 |
|-----|--|
| 甲 種 | すべての種類の危険物 |
| 乙 種 | 第 1 類 性質 酸化性固体 塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類、臭素酸塩類、硝酸塩類、よう素酸塩類、過マンガン酸塩類、重クロム酸塩類、その他のもので政令で定めるもの、前記に掲げるもののいずれかを含有するもの |
| | 第 2 類 性質 可燃性固体 硫化りん、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム、その他のもので政令で定めるもの、前記に掲げるもののいずれかを含有するもの、引火性固体 |
| | 第 3 類 性質 自然発火性物質及び禁水性物質 カリウム、ナトリウム、アルキルアルミニウム、アルキルリチウム、黄りん、アルカリ金属（カリウム及びナトリウムを除く。）及びアルカリ土類金属、有機金属化合物（アルキルアルミニウム及びアルキルリチウムを除く。）、金属の水素化物、金属のりん化物、カルシウム又はアルミニウムの炭化物、その他のもので政令で定めるもの、前記に掲げるもののいずれかを含有するもの |
| | 第 4 類 性質 引火性液体 特殊引火物、第 1 石油類、アルコール類、第 2 石油類、第 3 石油類、第 4 石油類、動植物油類 |
| | 第 5 類 性質 自己反応性物質 有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物、ニトロソ化合物、アゾ化合物、ジアゾ化合物、ヒドラジンの誘導体、ヒドロキシルアミン、ヒドロキシルアミン塩類、その他のもので政令で定めるもの、前記に掲げるもののいずれかを含有するもの |
| | 第 6 類 性質 酸化性液体 過塩素酸、過酸化水素、硝酸、その他のもので政令で定めるもの、前記に掲げるもののいずれかを含有するもの |
| 丙 種 | ガソリン、灯油、軽油、第 3 石油類（重油、潤滑油及び引火点130度以上のものに限る）、第 4 石油類及び動植物油類 |

別表1

化学に関する学科等（例示）

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

| 化学に関する学科又は課程等の名称 | | | | | | | | | | |
|------------------|---|---|---|---|--|---------------------------|---|--------------------------------------|----------------------|---|
| ア | 安全工学科 | ケ | 原子炉工学科 | セ | 製造薬学科 生体機能応用工学科 生体物質工学科 生体分子工学科 生物応用工学科 生物機能工学科 生物工学科 生物資源科学科 生物資源利用学科 生物生産科学科 生物分子科学科 生物薬学科 精密素材工学科 精密物質学科 生命理学科 製薬学科 繊維工学科 繊維高分子工学科 | フ | 物質生物工学科 物質生命工学科 物質生命システム工学科 物質分子科学科 物質分子工学科 物質理工学科 生物工学科 プロセス工学科 分子工学科 分子システム工学科 分子生物学科 分子生命科学科 分子素材工学科 | | | |
| イ | 医療薬学科 | コ | 工業材料科 厚生薬学科 高分子学科 高分子工学科 高分子材料工学科 | ソ | | 総合薬学科 総合薬品科学科 素材工学科 | | マ | マテリアル科学科 マテリアル工学科 | |
| エ | 衛生薬学科 | サ | 材料開発工学科 材料科学科 材料科学工学科 材料加工学科 材料学科 材料機能工学科 材料工学科 材料物性学科 材料物性工学科 材料プロセス工学科 | ト | | | | 塗装科 | | ム |
| オ | 応用原子核工学科 応用生物科学科 応用生物工学科 応用生命科学科 応用生命工学科 応用微生物工学科 | シ | 色染工芸学科 資源工学科 資源素材工学科 システム量子工学科 食品科学科 食品学科 食品工学科 食品工業科学科 食料科学科 森林資源科学科 | ハ | | | | 醗酵工学科 醗酵生産学科 | ヤ | 冶金学科 冶金工学科 薬科学科 薬学科 薬剤学科 薬品科学科 |
| カ | 環境生命科学科 環境物質工学科 環境マテリアル学科 | セ | 製剤学科 製糸学科 | フ | | | | 物質科学科 物質科学工学科 物質工学科 物質生物科学科 | ユ | |
| キ | 基礎理学科 機能高分子学科 機能高分子工学科 機能材料工学科 機能物質科学科 機能分子工学科 金属加工学科 金属学科 金属工学科 金属材料学科 金属材料工学科 | | | | | | | | | ヨ |
| ク | 原子工学科 原子力科 原子力工学科 | | | | | | | | リ | 林産学科 林産工学科 |

別表2

化学の授業科目（例示）

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

| 化学の授業科目の名称 | | | | | | | |
|------------|---------------------------------------|--|-----------------------------|-----------|---|---|---------------|
| ア | アモルファス物性工学 安全管理学 安全工学 安全防災工学 | エ | エレクトロセラミックス エレクトロニクス材料工学 | カ | 核融合工学概論 化工熱工学 化工熱力学 化工物理学 化工流体工学 化石エネルギー 火薬学 ガラス工学 ガラス材料 ガラス状態論 ガラス物性 環境汚染物質分析学 環境物質工学 感光物性論 | カ | 岩石学 官能基変換論 |
| イ | | オ | | 応化・プロセス工学 | | キ | |
| エ | カ | 回折結晶学 界面工学 界面制御学 界面電子工学 界面物性 科学史 核燃料工学 核燃料サイクル特論 核融合概論 | | | | | |

| 化学の授業科目の名称 | | | | | | | |
|------------|--|---|--|---|--|---|---|
| キ | 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 | サ | 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元 産業廃水処理 | セ | 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセス セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論 | ト | 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 |
| | | | | | | ニ | ニューセラミック学 |
| ケ | 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料 | シ | 色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論 | ソ | 相平衡論 相変態論 素材工学 | ネ | 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学 |
| | | | | | | ノ | 農薬学 |
| コ | 高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物学 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 多重反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学 | ス | 水質学 | タ | 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 | ハ | バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論 |
| | | | | | | チ | 超高温材料 調剤学 |
| カ | 細胞培養学 材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 | セ | 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 | テ | 鉄鋼材料学 鉄鋼表面処理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学 電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 | ヒ | 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学 |
| | | | | ト | 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミックス 毒性学 | フ | ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生物学 物質生物工学概論 物質プロセス工学 物質分析法 |

| 化学の授業科目の名称 | | | | | |
|------------|---|---|---|---|--|
| フ | 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 | フ | 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学 | モ | 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学工学 木質資源工学 |
| | | ヘ | 平衡論 平衡・反応論 | ヤ | 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学 |
| | | ホ | 放射線計測学 放射線物性計測学 | ユ | 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性 |
| | | マ | 膜機能工学 マテリアル工学 | | |
| | | ミ | 水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論 | リ | 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 |
| | | ム | 無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 | ユ | 有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 |
| | | メ | 免疫薬剤学 | レ | レオロジー |
| | | モ | 木材化学 木材成分学 | | |

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書（専修学校用）

年 月 日 入学 科 コース
年 月 日 修了

氏名
年 月 日 生

| | |
|---|----------|
| 学校教育法第124条に定める専修学校として 認可を受けた日及び文書番号 年 月 日 号 | |
| 課程の名称 | 〇〇〇〇専門課程 |
| 修業年限 | 2 年 |
| 課程の修了に必要な 総授業時数 | 1700時間 |

上記のとおり証明する。
年 月 日
専門学校 学校長 氏名 印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例 2 単位修得証明書

単位修得証明書

年 月 日 入学 部 科
年 月 日 修了

氏名
年 月 日 生

| 化学に関する 授業科目名 | 修得 単位 | 化学に関する 授業科目名 | 修得 単位 |
|-----------------|----------|-----------------|----------|
| 有機化学 | 4 | 高分子化学 | 2 |
| 無機化学 | 4 | 分析化学 | 2 |
| 燃焼工学 | 3 | 反応速度論 | 2 |

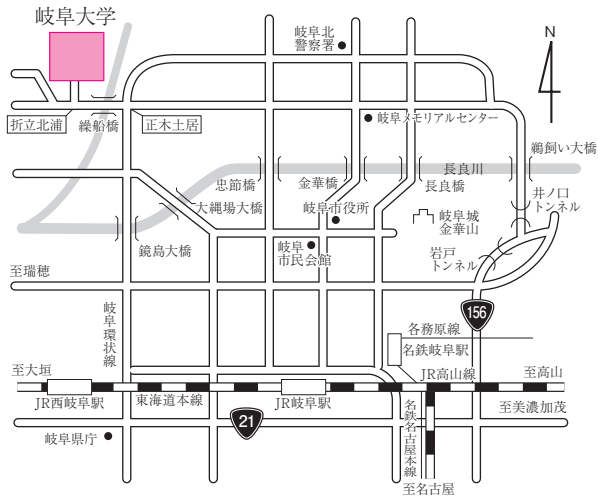
上記のとおり証明する。
年 月 日
大学 学長 氏名 印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

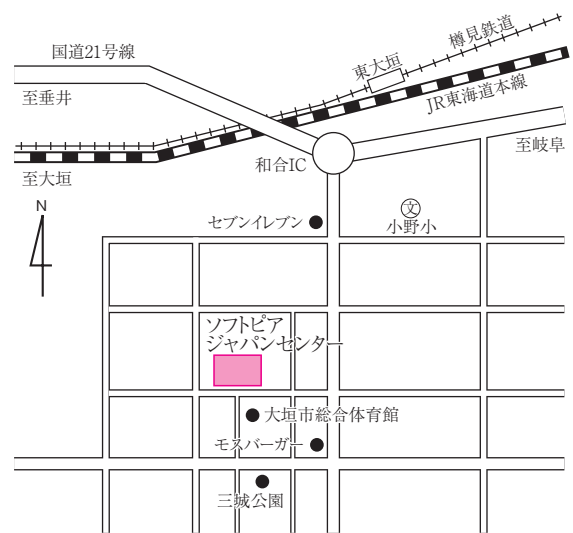
試験会場案内図

岐阜大学 (岐阜市柳戸1-1)



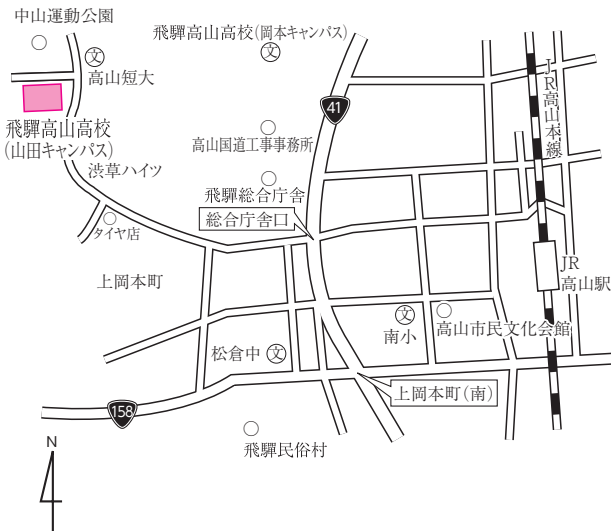
●JR「岐阜」駅、名鉄岐阜駅からバスで約30分
駐車場はあります。

ソフトピアジャパンセンター (大垣市加賀野4丁目1番地7)



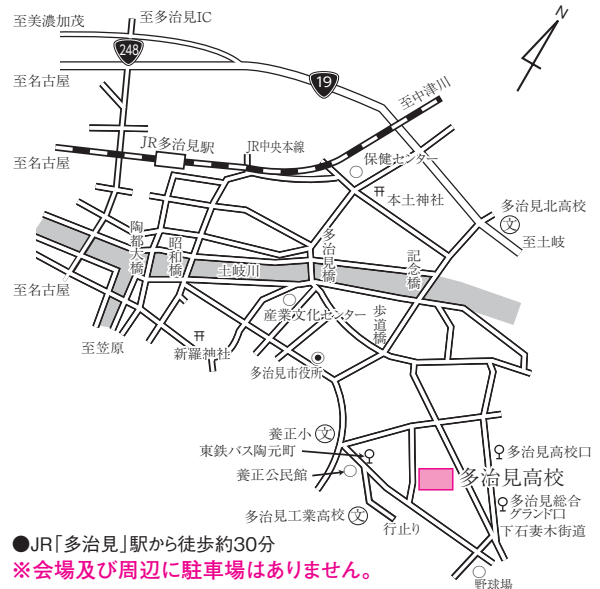
●JR「大垣」駅からバスで約15分
駐車場(有料)はありますが、台数に限りがあります。

飛騨高山高等学校(山田キャンパス) (高山市山田町711)



●JR「高山」駅から徒歩約30分

多治見高等学校 (多治見市坂上町9-141)



●JR「多治見」駅から徒歩約30分
※会場及び周辺に駐車場はありません。



試験会場に来場の際は次のことに注意してください。

できるだけバス・タクシー等の公共交通機関の利用をお願いします。試験会場の駐車台数には限りがあります。(多治見高等学校及び岐南工業高等学校会場は駐車不可)

試験会場に駐車する場合は、警備員等の指示に従ってください。

満車の場合は各自の責任において他の駐車場等を確保し、路上駐車、迷惑駐車等は絶対にしないでください。

不法駐車された受験者は、試験会場への入場及び受験をお断りします。

試験会場に直接問合せの電話をしないでください。

合格された方の免状交付申請手続き等について

- ◎ 合格者は、試験結果通知書の指定期日前までに、次のものを持参又は郵送で当支部まで提出してください。
- なお、期日後であっても免状交付申請の受付は行っています。
試験日後6か月以上経過して申請する場合は、新たに顔写真が必要です。
- (1) 二連の試験結果通知書及び免状交付申請書（切り離さないでください。）
試験結果通知書及び免状交付申請書は、機械処理をしますので、折れ線以外では、折り曲げないでください。
 - (2) 免状交付申請書（岐阜県収入証紙2,900円分を裏面に貼ってください。）
岐阜県収入証紙は、岐阜県内の銀行（十六銀行、大垣共立銀行）、信用金庫、農業協同組合、岐阜県各県事務所（県の機関）等で販売しています。
 - (3) 既に乙種又は丙種の免状を所有されている方は、その免状を提出してください。（新しい免状に併記します。）なお、免状をなくされた（亡失等）方は、再交付申請（申請手数料岐阜県収入証紙1,900円分）の手続きが必要です。
書換を行っていない乙種・丙種免状も必ず提出してください。
免状の氏名、本籍に変更のある方は、書換申請（戸籍抄本等）が別途必要です。
 - (4) 新免状の郵送を希望される方は、免状送付用封筒（定形封筒 長さ14cm～23.5cm、幅9cm～12cmのもの）の表面に、住所、氏名、裏面に受験番号を記入し、簡易書留郵便料金分の切手を貼ったものを提出してください。
※郵便局が配達した際に不在のためお渡しすることができず、郵便局での保管期間（7日間）を過ぎると当センターに戻ってきます。再送付には新たに切手が必要となります。

— 個人情報の取り扱いについて —

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知及び連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

危険物取扱者免状の写真は、交付の日から10年目に更新（書換）の手続きが必要となります。

なお、すでに10年を過ぎている方も、免状の更新（書換）ができますので、速やかに手続きをしてください。

また、過去の試験に合格されている方は、免状交付の有無にかかわらず試験の結果は有効ですので、新規交付（又は再交付）申請することができます。

ご不明な点がございましたら、当センターにお気軽にご相談ください。

一般財団法人
消防試験研究センター
岐阜県支部

〒500-8384 岐阜市藪田南1-5-1
第2松波ビル1階

TEL (058) 274-3210

FAX (058) 275-4546

<https://www.shoubo-shiken.or.jp>

駐車場はビル正面（東側）の
5番又は6番をご利用ください。



当センターは、試験を実施する機関です。受験用問題集の販売や試験準備講習等は一切行っていません。